

# 令和5年度 国分寺市立第三小学校 学校経営計画

国分寺市立第三小学校 校長 堀田 直樹

## 1 めざす学校像

本校は昭和22年4月に創立し、令和5年度は76年目を迎える。学校の周囲は創立当時から大きく姿を変え、集合住宅が増加している。そのような中で、学区域に隣接するけやき公園は、児童が自然を感じながら過ごすことのできる貴重な場となっている。また、地域には学校教育をご支援くださる方も多くおり、これまでも様々なご協力をいただいていたところである。

第三小学校ではこのような地域の環境を大切に、「**子供たちが明日も行きたくなる学校**」をめざし、保護者や地域の方々とのつながりを一層強めながら、学校・家庭・地域社会が一体となった教育活動を展開する。

教育目標の実現に向け、「子供たちが明日も行きたくなる学校」を具体化した「めざす学校像」を以下に掲げる。

### **○ 学ぶ喜びが味わえる学校**

個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、個々の児童のもつ資質や能力・可能性を最大限に引き出し、意欲的に学ぶ児童を育む。

### **○ 人と人との温かなふれあいや関わりがあふれる学校**

人権教育の充実を図り、自尊感情を高めるとともに、互いを尊重し協働できる心豊かな児童を育む。

### **○ 健やかな心身と夢を育む学校**

体力向上や健康の保持増進の取組の充実や多様な大人との関わりを通じて、将来に希望を持ち、生涯にわたって健康な生活を送ろうとする児童を育む。

## 2 教育目標

平和を愛し人権を尊重する精神に基づき、本校の児童が国分寺市の自然と文化を大切にし、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かに成長することを目指して、次の教育目標掲げる。

「心豊かな三小の子に」

やさしい子

進んでとりくむ子

考える子

※令和5年度は、「考える子」の育成に重点を置く。

元気な子

### 3 中期的目標と方策

#### (1) 確かな学力を育成します

- ・カリキュラム・マネジメントの推進により、教科横断的な学習を充実させ、学習の基盤となる資質・能力等を育成する。
- ・高学年教科担任制による質の高い授業実践や全学年における地域資源等を活用した体験的な活動の充実により、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。
- ・学校図書館及び ICT も有効に活用して学びを深めるとともに、生涯にわたる学び方を学ぶ機会とする。
- ・指導の工夫や個別の指導の充実により、全ての児童に基礎的・基本的な知識及び技能を定着させる。

#### (2) 豊かな人間性を育成します

- ・全教育活動を通して人権教育を推進し、自己肯定感を高めるとともに思いやりのある豊かな心を育み、行動につながる実践力を育成する。
- ・道徳科の授業改善を図り、自己の生き方や人間としての生き方について考えを深める機会とする。
- ・特別支援教育に対する理解を深め、一人一人の個性をとらえて適切な支援を図る。
- ・「学校いじめ防止基本方針」の確かな理解に基づき、一人一人を大切にしたい温かい学級経営をめざし、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努める。

#### (3) 健やかな体を育成します

- ・体育科の授業や体育的活動等を通して運動を愛好する気持ちを育むとともに、体力の向上を図る。
- ・生活指導や外部との連携による取組等の充実により、児童が自らの命を守る意識の向上に努める。
- ・心身の健康についての正しい知識と留意する意識をもたせる指導や、食育の充実により健康な生活を送ろうとする意識を育む。

#### (4) 家庭・地域等との連携を推進します

- ・保護者、地域等の外部教育力を活用した教育活動に取り組み、地域で児童を育てる雰囲気醸成する。
- ・中学校区で高学年教科担任制の実践を情報共有し、円滑な接続に役立てる。
- ・学校公開や学校だより・ブログ等により、様々な教育活動について保護者・地域の理解を得るよう努める。
- ・校内の組織的な対応を強化するとともに、保護者や関係機関と連携し、不登校児童への対応の充実を図る。

#### 4 今年度の取組目標と方策

##### (1) 確かな学力の育成 <基礎・基本の定着、学び合いの充実>

###### ○基礎・基本の確実な定着

- ・ICT 機器やタブレット型パソコン等を効果的に活用し、児童の学習意欲を高めるとともに、個別最適な学びや協働的な学びを充実させ、学習内容の定着を図る。
- ・補習教室等の個別指導の機会を設け、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
- ・朝読書や読書週間の機会に教員や保護者・児童による読み聞かせ等を行い、読書への関心を高める。
- ・幼児教育から小学校での学習への円滑な移行をめざした「スタートカリキュラム」を活用し、1年生が安心して学校生活をスタートし、集団の中で主体的に学べる環境を整える。

###### ○思考力・判断力・表現力等の育成

- ・カリキュラム・マネジメントを推進し、体験的な活動を取り入れた問題解決的な学習や探究的な学習を充実させ、思考力・判断力・表現力等を育む。
- ・SDGs への理解を深め、持続可能な社会の実現に向け自ら課題を見付け解決していこうとする態度を育て、他者と協働しながらよりよい社会を築こうと主体的に行動する力を育てる。

###### ○コミュニケーション能力の育成

- ・外国語専科教員の専門性を生かし、外国語や外国の文化についての理解を深める授業を推進し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を育てる。

###### ○情報活用能力の育成

- ・学校教育全体を通して ICT 機器の積極的な活用を図り、情報活用能力を育成するとともに、情報モラル教育の充実を図り、実践する態度を養う。

##### (2) 豊かな人間性の育成 <あいさつ・温かな言葉の定着、多様な関わりの充実>

###### ○人権教育の充実

- ・「国分寺市『すべての人を大切にするまち宣言』」を関連する授業で活用し、人権を大切にする意識を高める。
- ・地域の人材や環境、歴史や文化等の教育資源を生かした「三小国分寺学」に取り組み、多様な関わりを通して地域への理解を広げたり深めたりしながら、地域への愛情を育む。
- ・あいさつや正しい言葉遣いなどの言語環境を整えることで、児童が偏見や差別をもたない指導を徹底する。
- ・特別支援教室巡回指導員の活用、副籍交流等により障害理解教育を推進し、児童の障害者理解を深める。

###### ○生活指導の充実

- ・児童理解に努め、一人一人のよさを認め伸ばす教育に取り組み、児童の自己肯定感を高める。

- ・言語環境を整え、あいさつや正しい言葉遣いなどの基本的な生活習慣や学習規律を身に付けさせる。

#### ○道徳教育の充実

- ・道徳教育推進教員を中心に、組織的かつ計画的に道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養い、道徳的な実践のできる児童を育てる。
- ・道徳授業地区公開講座では、全学級の授業を公開し、保護者・地域の方々と共に考える意見交換会を充実させる。

#### ○特別活動の充実

- ・異学年交流活動や学校行事、児童会の取組などを通して、高学年のリーダーシップを育成するとともに、豊かな人間関係を育成する。
- ・年間を通して10回程度学級会を行うことにより、学級や学校全体の課題を見だし、話し合いを通して合意形成を図り、実践しようとする力を育成する。
- ・「三小タイム」や「たてわり班交流」等の自主的・実践的な活動を通して、互いに認め合い尊重し合う人間関係を築く。

### (3) 健やかな身体の育成 <運動に親しむ、関心をもつ>

#### ○体育指導の充実

- ・高学年体育専科教員が全学年の指導に積極的に関わり、児童の実態や発達段階に合わせた指導を充実させることにより健やかな体を育成する。
- ・個人や集団で取り組む体育的活動を取り入れ、運動に親しむ機会を設ける。

#### ○食育や保健指導の充実

- ・養護教諭の保健指導等を通して、心身の健康についての正しい知識と留意する意識をもたせる。
- ・家庭科の学習や栄養士の指導、会食会等を通して、食への関心を高める。

### (4) 家庭・地域等との連携 <円滑な接続、多様な関わりの推進>

#### ○中学校区での連携の推進

- ・第一中学校区で「国分寺学」の研究や児童・生徒のスポット交流に取り組み、小中連携教育の機会を充実させる。また、高学年教科担任制の実践について情報共有し、中学校からの意見も踏まえて改善し、中学校進学への円滑な接続に役立てる。

#### ○多様な大人との関わりの充実

- ・様々な職種の方によるゲストティーチャーや将来設計を考える授業を通して、自己の生き方について多面的・総合的に考えさせることで、キャリア教育の充実を図る。
- ・「国分寺学」の推進に伴い、保護者や地域ボランティアが関わる授業を整理・充実させ、教育活動への積極的な参加を呼び掛ける。

## (5) 学校運営・組織体制

- ・管理職をはじめ各職層がその役割と責任を自覚し、全教職員が改善の意識をもち自ら考えるとともに、協力体制を備えた組織を構築する。
- ・OJT 推進に向けて主任教諭を担当者として置き、小グループで高め合う体制を構築する。加えて、若手教員の育成に向け、互いに学び合える機会を設定する。
- ・月 1 回の経営支援会議及び毎週木曜日の主幹会議を有効に活用し、校務の円滑な進行のための管理、業務改善に取り組む。
- ・年間を通して計画的な予算執行を適切かつ適正に行う。
- ・年 2 回のサービス事故防止研修、毎回の職員会議におけるサービスに関する注意喚起を実施し、サービス規律の徹底を図る。
- ・個人情報管理を徹底するために、持ち出し許可簿の活用と机上整理を一層徹底する。
- ・学校からの情報発信を強化する。その際、SNS 等も積極的に活用する。
  - 学校だより：まなびポケット、学校ホームページ、紙／月 1 回
  - 三小ニュース（ブログ）：ブログ／各学年月 2～3 回
  - 学年だより：まなびポケット／月 1 回
  - 学級だより（学級ブログ）：まなびポケットまたは紙／月 1 回以上
  - その他おたより：連絡アプリ（スクリレ）に添付、紙／適宜
- ・業務の効率化をめざして活用した ICT の効果を検証し、発信側、受け手側両者にとってよい方法を検討する。